

9月教育委員会定例会 会議録

- 1 日 時 令和4年9月28日(水)13時00分から14時41分
- 2 場 所 豊後高田市役所真玉庁舎教育委員会室
- 3 出席委員
教育長 河野 潔
職務代理者 高井 郁朗
委員 大嶽由美子
委員 宮崎みゆき
委員 松成 康男
- 4 事務局
文化財室長 板井 浩
学校教育課長 衛藤 恭子
- 5 書 記
総務管財係長 近藤 教夫
- 6 議 題
 - 1 教育委員会事務局9月執行経過報告及び10月行事予定について
 - 2 議題
 - (1) 令和4年豊後高田市議会第3回定例会の報告について
 - (2) 学校施設安全点検結果について
 - (3) デジタル教科書の利活用について
 - (4) 中体連九州・全国大会及び全日本少年柔道大会の結果について
 - (5) 新型コロナウイルス感染者の全数把握の簡略化について
 - (6) 令和4年度「おおいた教育の日」推進大会について

開会あいさつ 教育長から開会あいさつ
議事進行 高井職務代理者

○教育委員会事務局9月経過報告について(資料1～2ページ)

教育長から9月執行経過報告について、資料にもとづき説明。

○教育委員会事務局10月行事予定について(資料3ページ)

教育長から事務局10月行事予定について、資料にもとづき説明。

(大嶽委員) 今年の運動会の様子をお聞きしたいと思います。

コロナ禍ということもあり、どこの学校も午前中で終わりといった状況だったのでしょうか？

(学校教育課長)

現時点で高小、桂陽、香々地小、幼稚園2園以外は運動会が終わっています。午前中で終了しているところが多かったと思いますが、その中でも、河内小・中、真玉中については、午後(13:30前後)まで予定がありました。多くの学校が午前中に開催し、午後は解団式、片付け、振り返りなどを含めて実施をして、週休日に開催した学校は、振り替えて体を休めるといった形をとっていました。また、若干、参観者を増やして、保護者を2人までにしたり、小規模校については、地域の方を招待するなど、学校の状況に応じて対応をしていました。

(教育長)

基本的に全学校が足並みを揃えたわけではなく、それぞれの学校経営の中で考えて実施をするように指導をしてきました。その中で、午前中だけの方が熱中症対策がやり易いし、感染症対策もできるということの判断で午前中実施にするところも多かったようにあります。修学旅行などでもそうですが、既存の考え方の中で、合同でやるということではなく、自校の学校経営を考え、各学校、独立した教育課程の中で、学校長の判断、対応をしっかりと考えるということを指導してきた成果であると思っています。

(大嶽委員) 話を聞いた感想として、修学旅行も、いろいろコロナ対策を工夫してきていると思うのですが、今、コロナ感染で3年目に入っています。コロナの中でどうやって、社会活動をしていくかということの中で、教育長も言われたように、学校がそれぞれ工夫をして運動会も実施していると思いました。毎日の検温もそうですが、学校もすごく気を使いながらも、これまでの活動を充実させようとしてくれていることに感心しています。大変だとは思いますが、いろいろな工夫をしてくれていると感じました。

(教育長)

園長、校長、学園長も精一杯、努力してくれています。教育委員会事務局としても、少しでも応援できたらと思っています。

(高井委員) ギガスクール構想の推進が、コロナ禍の影響で前倒しになったこと、このところだけは良かったことではないかと思っています。

(各委員) その他、意見・質問等なし。

○令和4年豊後高田市議会第3回定例会の報告について(資料4～7ページ)
教育総務課、学校教育課長から資料に沿って説明。

(高井委員) 高校生のための「学びの21世紀塾」事業の詳細な内容を教えてください。

(学校教育課長)

高校3年生については、受験対策が主な内容になってきます。

1、2年生については、探求力なども求められるので、今後にはなりますが、プロジェクト活動といったものなども、この事業の中でやっていくということと、私立大学の入試の中では、コミュニケーション能力を求められますので、小論文の面接であったりに対応できるようになる対策を授業の中でやっていくであったり、その小論文や面接のベースになる体験活動であったり、自分たちで主体となって動くような地域との連携した活動なども、メニューの中で週末等を利用しながらやっていくという中身になっています。

また、基本的にこの塾を利用する生徒の進路の今の希望であったり、保護者の考えを踏まえ、メニューをそれぞれに考えていくようなシステムになっていると聞いています。このことから、面接等が必要な子どもには、そういったプログラムが用意されているでしょうし、1、2年生の間は、定期テスト対策として基礎的な学力をつけるためのこともやっています。

この塾は、17時20分からスタートして19時までは自習で、それぞれの生徒が課題としている部分を講師がサポートしながらやって、19時からオンラインなどを使い、数学と英語を主に集団授業をして、子どもの習熟度に応じて、最初は一斉授業形式で同じ内容を見ていくのですが、あとは、進捗状況によって課題が異なるので、その課題を解いている最中につまずいている箇所があれば、そこをサポートしていくと、出来ている分は先へ先へ進んでいくというような、自分でしっかりと勉強ができる、習慣であったり、そのためのノウハウを伝えているように聞いています。その点も好評を得ているところです。

(教育長)

この取り組みは、高校の校長先生とも打ち合わせをして進めています。

私たち教育委員会事務局としては、この塾と高校との間をつなぐ役割としてやっています。

私たちが高校に足を運ぶことで、校長も教育委員会に連絡してくれる関係性を築けていると思っています。

高校と公営塾がしっかりと連携をしておかなければとも思っています。

(各委員) その他、意見・質問等なし。

○学校施設安全点検結果について（別冊）

教育総務課から資料に沿って説明。

(各委員) 意見・質問等なし。

○デジタル教科書の利活用について（資料 9 ページ）

学校教育課長から資料に沿って説明。

(教育長)

必ずしもデジタル教科書をみんなが讃嘆賛美しているのではなくて、資料にもあるとおり、視力低下など、健康面への影響などが懸念されることから、数年前、議会でも取り上げられたことがあります。

こういったことから、紙媒体についても私たちは大切にしているということは理解していただかなければいけないと思いますし、豊後高田市が導入率 100%ということで凄いことをやっていると受けとられてしまっているところはありますが、教育委員会としては恣意的な行動は一切しておらず、その中でたまたまこのような結果になっただけであり、全県下でいたい同じくらいの導入状況であるとうご理解いただきたいと思います。

※タブレットを使用してのデジタル教科書の実演あり

(各委員) 意見・質問等なし。

○中体連九州・全国大会及び全日本少年柔道大会の結果について

学校教育課長から資料に沿って説明。

(資料 10 ページ)

(各委員) 意見・質問等なし。

○新型コロナウイルス感染者の全数把握の簡略化について (資料 11 ページ)

学校教育課長から資料に沿って説明。

(学校教育課長)

全数把握の関係は、児童・生徒の欠席の連絡が学校に入ったのち、学校からこれまでどおり教育委員会に報告をあげてもらい、人数が多ければ臨時休業であったりも考えていかないといけないと思っていますので、これまでとあまり変わらない対応となります。

療養期間については、8日、検査をすれば5日とあるが、10日間は観察期間と言うこととなりますので、その間、不安で学校を休みたいという子は、これまで同様の欠席扱いを校長判断で登校しなくてもよいという考えであります。各校には、この考えに沿って取り扱ってもらうように、校長会でも周知したところであります。

(各委員) 意見・質問等なし。

○令和4年度「おおいた教育の日」推進大会について (資料 12～13 ページ)

教育総務課から資料に沿って説明。(委員の出欠について意向確認)

(各委員) その他、意見・質問等なし。

○その他 次回の開催について

次回は10月25日 火曜日の13時からに決定。

以上閉会。